

巻頭言

一般社団法人 日本中医学会は2020年に創立10周年を迎えました。この10年間に中医学を取り巻く状況は大きく変化しました。医学、先端科学技術の発展、中国の経済発展、あるいはコロナウイルス問題による生活様式の変化など、さまざまな社会的環境の変化がありました。このような環境の中で、(一社)日本中医学会はどうかあるべきか、第10回学術総会において理事、評議員、会員の方々と議論を重ね、日本の中医学をさらに発展させるためには、日本中医学会は新しく再出発する必要があるとの結論に至りました。

そのために、1) 専門医制度を創設すること、2) 人工知能など先端情報技術を活用した日本独自の中医学を開発すること、などが提案されております。そして、学会活動を対外的にアピールするために、学会のシンボルマークを新たに作成いたしました。さらに、2021年4月1日より、学会の名称を「(一社)日本中医薬学会」に変更することにいたしました。中国との学術交流をさらに深めていくうえで、中国の中医学系大学が「中医薬大学」の名称が付けられていることに準拠して名称を変更した次第です。

また、学会の名称の変更に伴い、今号より誌名も『日本中医薬学会雑誌』に変更いたしました。

本学会員のみなさまと共に(一社)日本中医薬学会を力強く発展させていきたいと思っております。何卒、宜しくお願い申し上げます。

2021年5月

(一社)日本中医薬学会 理事長

『日本中医薬学会雑誌』編集長

酒谷 薫